

コースマップ



女木島は、高松港から沖合約4km、波静かな瀬戸内海に浮かぶ白砂青松の風光明媚な島です。

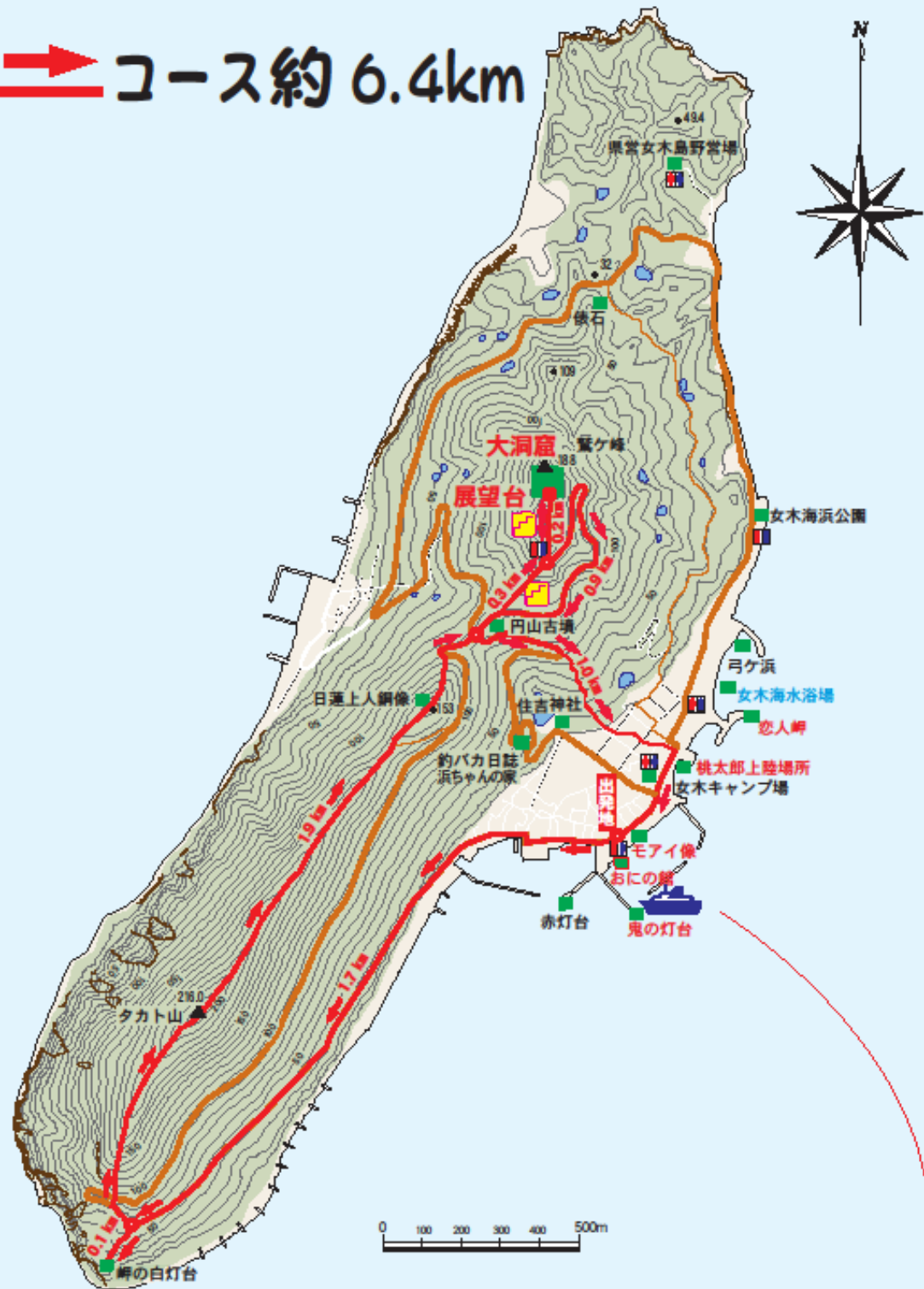
通称「鬼ヶ島」と呼ばれ、訪れる人々を鬼たちが千年ロマンの世界・謎の洞窟へと引き込みます。

島の中腹には、桃太郎伝説を裏付けるように人工と思われる400mほどの洞窟が昭和5年に発見されて以降、「鬼ヶ島」として全国に知られました。

会期外ですが、女木港を中心に瀬戸内国際芸術祭のアート作品が一部鑑賞可能です。



→コース約 6.4km



女木島ウォーク



◆女木島灯台

島の最南端「帆槌ノ鼻」の灯台は、昭和31年より照らし続け、海の平和を守ってきました。瀬戸の海を渡る船はこの灯台の明かりを頼りに今も行き交います。



◆鬼ヶ島スカイライン

ハイキングコース

灯台から垂直に近い登山道を一気に稜線まで登り、尾根沿いに北へ進みます。稜線を進むため見晴らしも良く眼下に瀬戸内の海が広がります。



◆オオテ

女木島では秋から冬にかけて「オトシ」と呼ばれる強風が吹くため、島の集落には民家の屋根まですっぽり覆うほどの高さの石垣「オオテ」が防風防潮用に築かれています。

独特の島風景はどこか懐かしく、ゆっくりとした時間が流れます。





◆日蓮上人銅像

元々京都の廃寺にあったものを地金にしようと高松の古鉄買が買いましたが、罰が当りそうで怖くなり市に寄贈しました。その後、女木島の人々の手によって現在の場所に祀られています。



◆柱上節理

洞窟の出入口付近には、材木を束ねたように溶岩石が並ぶ珍しい光景が見られます。
(S51.市指定天然記念物)



◆大洞窟

桃太郎伝説のある大洞窟は、島の中央にあり広さ4,000㎡、奥行き400m。内部には鬼の大広間や居間、鬼番人の控え室などを再現しています。洞窟の中は夏でも涼しく、妖しげな雰囲気漂います。



◆鷲ヶ峰頂上展望台

大洞窟の15m上、標高188mの鷲ヶ峰展望台は一周360°の大パノラマで瀬戸内海の雄大な景色、南東に屋島、南西に五色台や大槌・小槌、南にサンポート・高松港、北に男木島、北西に直島、北東に小豆島を望むことができます。



◆モアイ像

女木島のモアイ像は、高松市の建設重機メーカーがイースター島のモアイ再建時に吊り上げテスト用に作られた模刻像で高松市に寄贈されたものです。